

種名称 (学名)	アキノエノコログサ 参考文献：田んぼの草花指標 (農と自然の研究所ほか)																																																	
分布	沖縄を除く全国																																																	
日本名	秋の狗尾草																																																	
主な地方名																																																		
中国名																																																		
本種写真	生息環境写真	指標に挙げた理由																																																
		指標区分：I (5), IV (1), V (4) ネコジャラシの中で出穂期がややおそいもの。																																																
		主な生育場所																																																
		畦畔・休耕田・畑・路傍																																																
		大きさ																																																
		大きさ：40~100cm 種子・繁殖体の大きさ：1.5-2.5(mm)																																																
		観察のポイント																																																
		小穂はエノコログサより大きい。																																																
		類似種																																																
		見分け方																																																
		穂が細く黄金色になるのはキンエノコロ、穂が太く短いのはコツブキンエノコロ。																																																
		生態的な特徴																																																
		エノコログサより出穂がやや遅いが、目立つ。 【繁殖形態】種子繁殖。とくに散布のための仕組みはなく、種子は親株の周辺に落下。 【越冬形態】種子が土壌中で越冬。 【訪花昆虫】 【植食昆虫】																																																
		生活史 関東地方の例(目安)																																																
		<table border="1"> <tr> <td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">1年あたり</td> <td colspan="4">1</td> <td colspan="4">世代</td> </tr> </table>	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																									1年あたり				1				世代			
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月																																							
1年あたり				1				世代																																										
		農業との関係																																																
		畑の雑草として結構発生量が多い。 【許容範囲密度の目安と発生量の調査方法】耕起後の水田には入らない。畦畔では単位面積あたりの被度や発生株数、埋土種子量調査から発生量を把握する。																																																
		最近の動向																																																
		エノコログサよりも増えている地域も。																																																
		つきあい方																																																
		秋を感じさせる風景。穂をしごいて実を集め、フライパンで炒ると、ポップコーンのようなになる。若い葉も食べられる。																																																
		食用部位と調理法																																																
		アワの原種なので食べられる。インドやアフリカには栽培される雑穀がある。																																																
		薬用部位と効用																																																
		雑穀としての効用。																																																
		一言うんちく																																																
		栽培種のアワとエノコログサは簡単に交雑するので、アワ畑の周囲には、エノコログサの穂を長くしたようなオオエノコログサがよく見られる。																																																
		季節と旬																																																